

追いつめられた佐藤政権

佐藤内閣支持率、史上最低23%。日毎に佐藤長期政権への不満は高まる。

「10.21 反戦デー」には10万人を超える人々が結集され、昨年を上廻る盛りりを見せた。不満の炎は、国会へと燃えひろがった。あいかわらず、のらりくらりと質問をかわす。佐藤総理。

安井吉典(社会)……政府は核ぬき本土なみが実現するといっておられますが、その費用は正確にいくらですか。

佐藤総理 ……エー、正確に申しあげるわけにいかない。

安井吉典 ……国会の中で七千万ドルという答弁を何回もくりかえしているが、その根拠はないんですね。

佐藤総理 ……根拠がないことはございません。

安井吉典 ……撤去費用を出す以上は沖縄に核があるということが、はっきりしていますネ。

佐藤総理 ……現在核があるかないかということは私共申しあげるような立場にございません。

あまりの不まじめな答弁に、沖縄出身の上原議員は、「沖縄に核があるかわからないという政府の説明では沖縄県民はもとより、国民は納得しない」と怒りの発言。

繊維問題では、正木議員が、「ニクソンの選挙公約を果すために、日本が甘んじて政府間協定で打撃を受ける。その打撃に対して政府は国民の税金で救済する。この救済資金というのは、ニクソンの選挙資金みたいなものですナ」と、日米繊維協定にひそむ日米のくされえんをひにくる。

中国問題の質疑応答。

正木(公明)……台湾だけが正統政府である。台湾も中共も正統政府である。中共だけが正統政府である。この三つのうちどれか。

佐藤総理 ……その三つのどれにも入らないものが、中国の実情ではないか。

こうしたさなか、国連総会では、日本が提案した逆重要事項指定決議案は否決、中国招請、国府追放が決定した。

追いつめられた佐藤政権に、正木議員は、さらに追いうち。

「佐藤総理はある一面ではお気の毒だ。史上最低の内閣支持率なんていうものが出てまいりまして、まア、辞めるまでは総理大臣でございまして、何とか責任をまっとうしなくちゃならないというので、悲愴という感じさえ受ける位、いじらしいガンバリ方をなさっているように私は思うのでございます。」